Ⅱ　調査結果

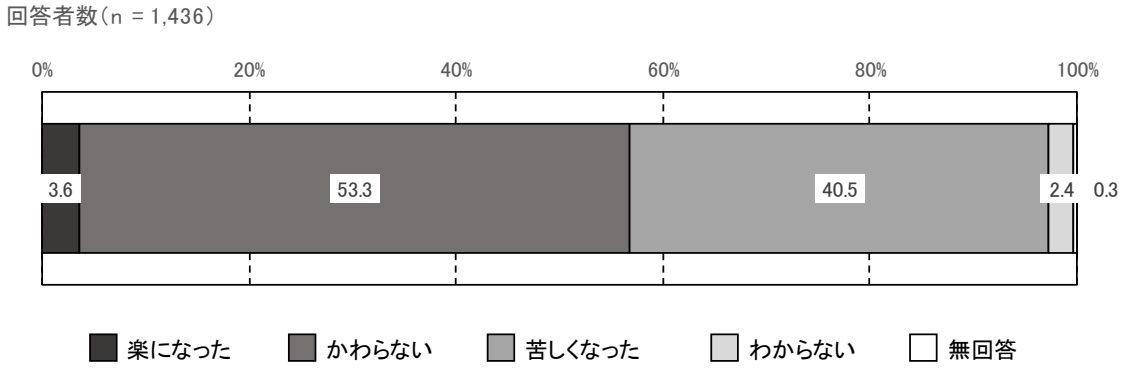
2．1　くらしについて

問1　くらしの前年比較

問１　あなたやあなたの家庭のくらし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。（１つだけ）

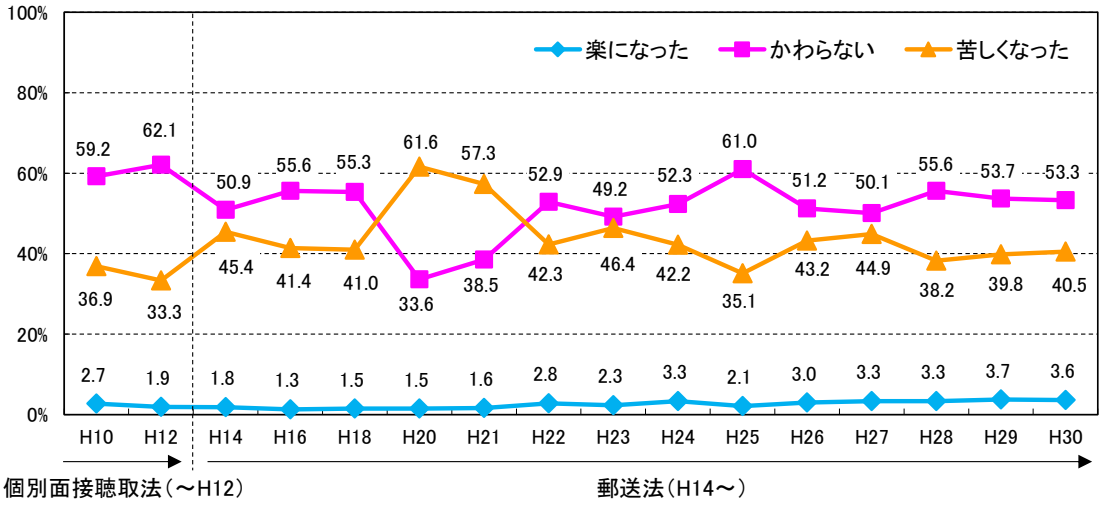
全体（図 1-1）でみると、「かわらない」が 53.3％と最も高く、次いで「苦しくなった」（40.5％）、「楽になった」（3.6％）の順となっている。

図 1-1　くらしの前年比較



経年変化（図 1-2）でみると、平成 18 年までは、「かわらない」が最も高くなっている。平成 20 年から平成 21 年では「苦しくなった」が最も高くなっており、平成 22 年からは再び「かわらない」が最も高くなっている。平成 30 年は、平成 29 年より「楽になった」が 0.1 ポイント低くなっており、また「苦しくなった」が 0.7 ポイント高くなっている。

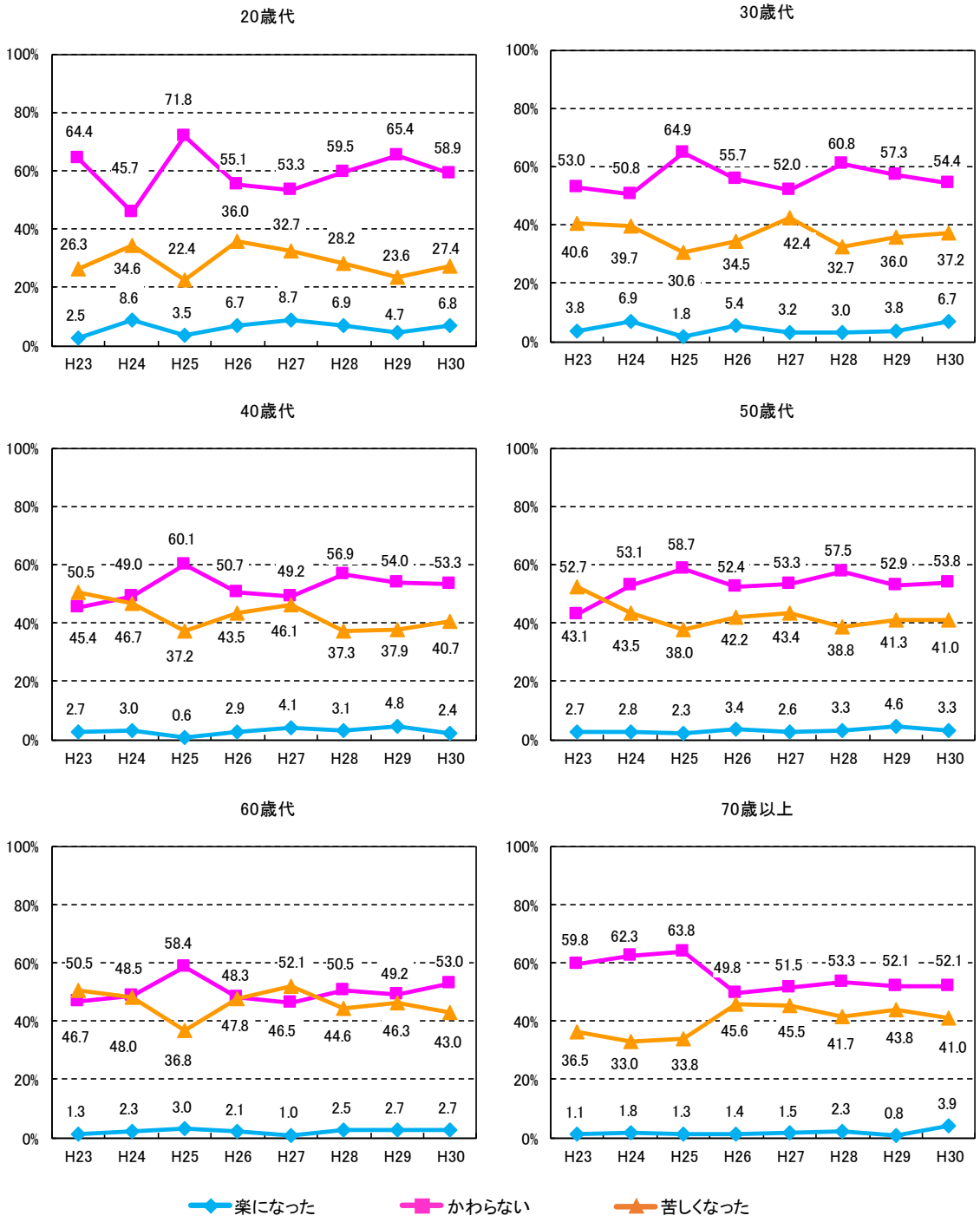
図 1-2 【経年変化】くらしの前年比較



※　調査方法：平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

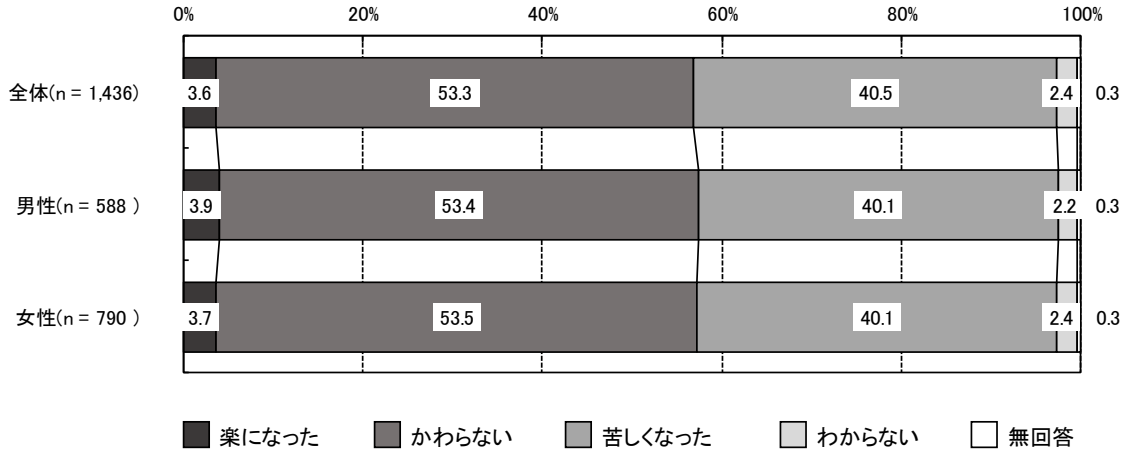
年代別の経年変化（図 1-3）でみると、平成 30 年では平成 29 年に比べ、20 歳代、30 歳代、40 歳代で「苦しくなった」のポイントが高くなっている。「楽になった」では 20 歳代、30 歳代、70 歳以上のポイントが高くなっている。そのうち 70 歳以上では前回と比べて 3.1 ポイント増加した。

図 1-3 【経年変化（年代別）】 くらしの前年比較



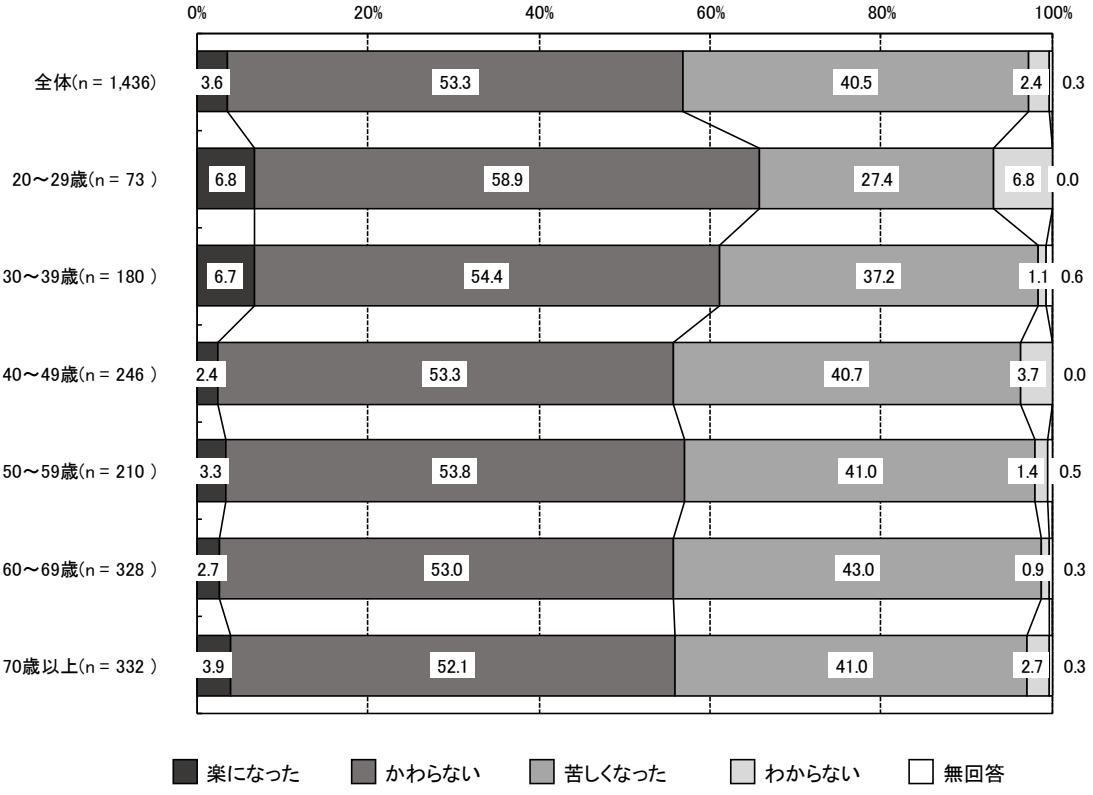
性別（図 1-4）でみると、男女ともに「かわらない」が最も高く、男性が 53.4%、女性がが 53.5%と、女性が男性より 0.1 ポイント高くなっている。

図 1-4 【性別】くらしの前年比較



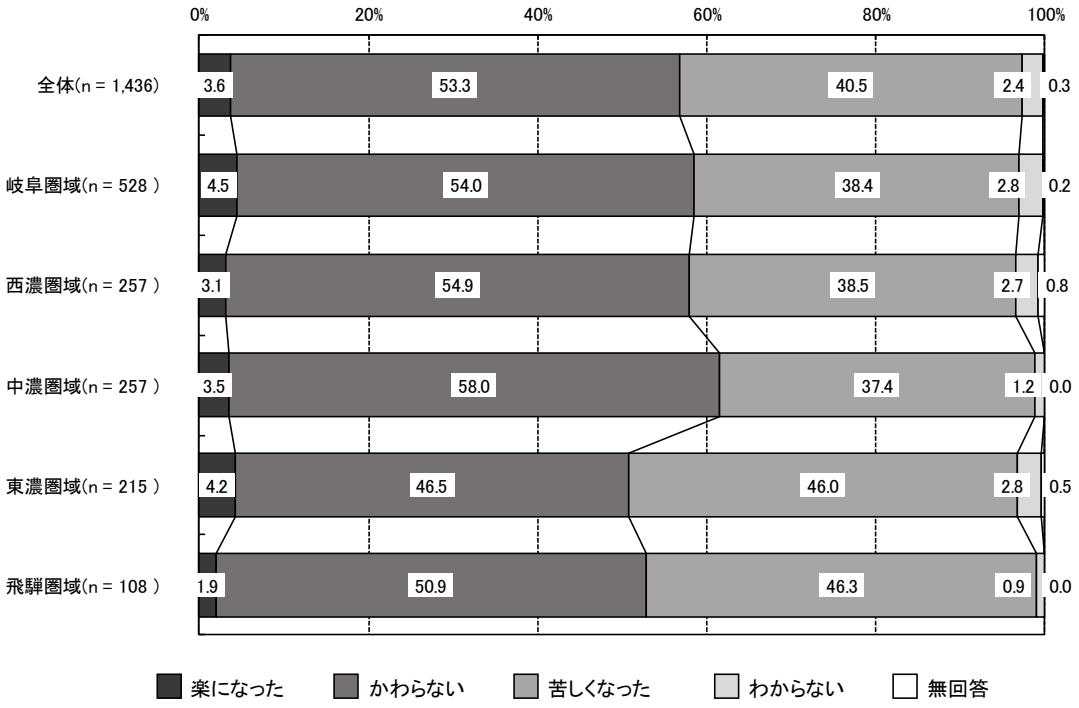
年代別（図 1-5）でみると、「かわらない」は 20 歳代が 58.9%と最も高く、次いで 30 歳代（54.4%）、50 歳代（53.8%）の順となっている。また、「苦しくなった」は、60 歳代が 43.0%と最も高く、次いで 50 歳代と 70 歳以上の 41.0%の順となっている。

図 1-5 【年代別】くらしの前年比較



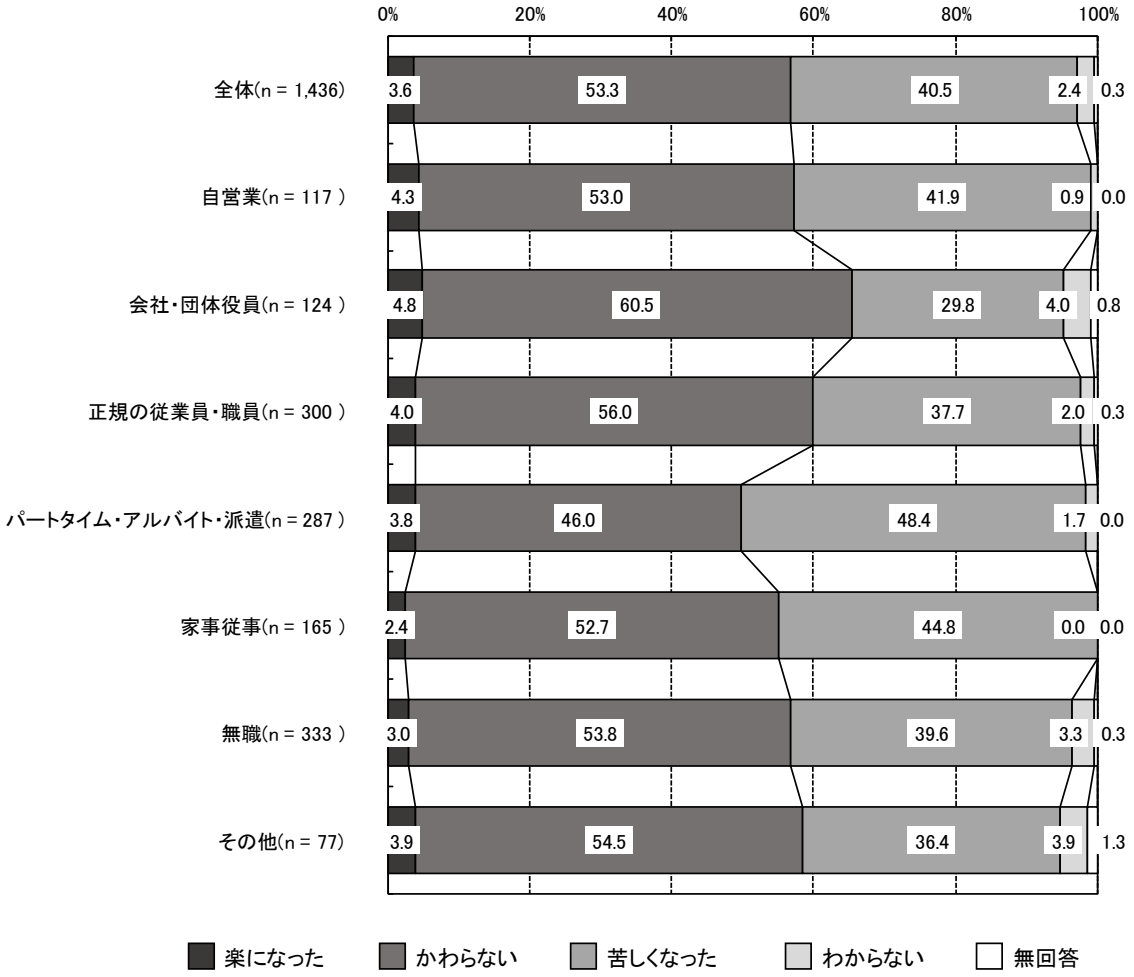
居住圏域別（図 1-6）でみると、「かわらない」は中濃圏域が 58.0%と最も高く、次いで西濃圏域（54.9%）、岐阜圏域（54.0%）の順となっている。「苦しくなった」では飛騨圏域が 46.3%と最も高く、次いで東濃圏域（46.0%）、西濃圏域（38.5%）の順となっている。

図 1-6 【居住圏域別】くらしの前年比較



職業別（図 1-7）でみると、「かわらない」は会社・団体役員が 60.5%と最も高く、次いで正規の従業員・職員（56.0%）、その他（54.5%）の順となっている。「苦しくなった」ではパートタイム・アルバイト・派遣が 48.4%と最も高く、次いで家事従事（44.8%）、自営業（41.9%）の順となっている。

図 1-7【職業別】くらしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む